

Q

鶴ヶ島市総合計画について

A

計画的に事業に取り組み

高橋 剣二 議員

質問一 介護保険サービスの充実について。

進めてきた。

高齢者が要介護状態になっても

二 商工業の振興について。

答弁一（市長） 本市では、高齢

者が身近で気軽に参加できる介護

予防事業を行っている。また、居

宅でのサービスを基本としつつ、

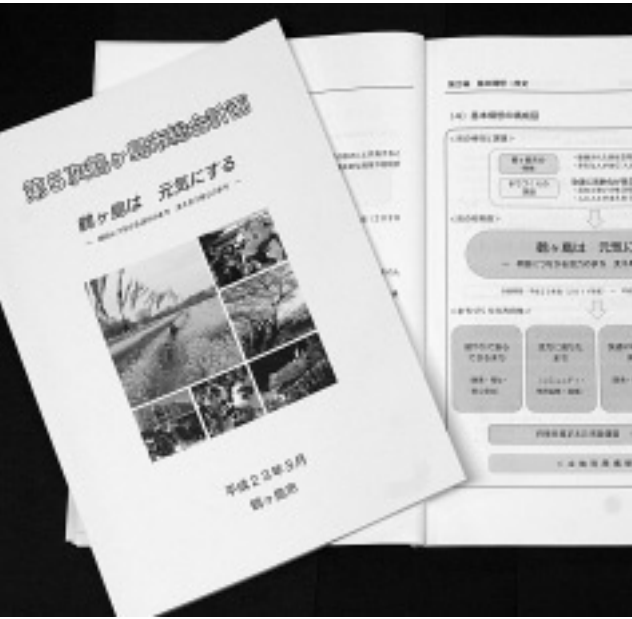
自宅での生活が困難となった場合

でも、安心した生活を継続できる

ように施設サービスの基盤整備を

住み慣れた地域で暮らし続けるた
めに、高齢者を地域全体で支えて
いく体制である地域ケアシステム
の構築を重点施策にしている。

二 企業誘致については、水土里
の交流圏の構築を核として、農業
大学校跡地への企業誘致がある。
現存する緑や水辺の地域資源を保



第5次鶴ヶ島市総合計画の冊子

全しつつ、企業誘致を県と取り組
んで行く。起業支援については商
工会と連携し、起業支援事業とし
て創業塾等を実施することで、受
講者が市内で起業をしている。
昨年度は、市と(株)地域協働推進
機構が連携し、「iSB公共未来
塾」を開設した。今後も、商工会
や関係機関と連携し、新たな起業
者が生まれるよう支援に努める。
◎**その他の質問** 仕事と子育ての
両立支援について

Q

平和都市宣言の取り組み・実践は

A

さらなる平和意識の高揚を図る

高田 克彦 議員

平成24年3月30日に鶴ヶ島市平
和都市宣言が発せられている。
質問一 宣言文には、「平成23年3
月の、東日本大震災と福島第一原
子力発電所の事故は、甚大な被害
とともにいくつもの教訓を残しま
した」とあるが、甚大な被害と教
訓は、まとめてあるか。公表する
必要があるのではないか。

この見解をまとめておく必要があ
るのではないか。
答弁一（市長） 教訓とは鶴ヶ島
市に限定したのではなく、世界
中の方々がそれぞれに受けたもの、
感じたものであり、特にまとめた
ものはない。
本市の被害状況等は「広報つる
がしま」等により市民にお知らせ
しており、被害に関する教訓は、
今後の危機管理に生かしていく。
二 原子力によらない発電につい
ては、さまざまな発電、蓄電方法
が研究されている。再生エネルギ
ーの活用、原子力の在り方につい
て皆で考えていきたい。



平成23年8月に行われた子ども議会